
CyberRad対応委員会報告

- CyberRadについて
- JRC2007報告
- その他の広報活動
- 2007年度計画

CyberRadについて

- 日本ラジオロジー協会 (JRC) は、日本医学放射線学会 (JRS)・日本放射線技術学会 (JSRT)・日本画像医療システム工業会 (JIRA) と連携して 毎年学会や機器展示を実施してきた。
- 1999年より、3者合同の学術展示を行っている⇒ CyberRad
- JRCとして行う継続的な学術展示であり、両学術大会、及び機器展示と同格
- CyberRad委員会 (委員長 藤原 一彦) が運営

JIRAシステム部会の広報担当として参画



JRC CyberRad2007

- CyberRad委員会の決定によりIHE-JのシナリオデモをCyberRadのテーマ展示として行った。(例年どおり)
- デモ内容はIHE-Jコネクタソンの結果発表の場として定着。
- IHE-Jデモと平行して講演形式のチュートリアルを実施。

CyberRadデモ実施の概要

- IHE入門(講演)とリンクしたガイド付きツアー
- 会場がANENEXからITEM展示会場隣接へ
- 配布物
 - IHE入門(講演パワーポイント資料)
 - CyberRadのアンケート
 - IHE-Jコネクタソン評価結果
 - IHE紹介DVD(2005年版)

マルチベンダによるデモ

- コネクタソン結果公表の場
- 4つの基本シナリオによる実演デモ
- 28社参加(年々増加している)
- SWF,PIR, CPI, PDI, XDSを実現
- 広報ビデオ撮影(2007年版DVD作成用)

デモンストレーション

- デモンストレーションベンダ28社。(前年は25社)
- 参加者 約640人(前年は約500人)



デモツアー参加者数集計2007

| | 延べ参加人数 |
|----------|--------|
| 4月13日(金) | 60 |
| 4月14日(土) | 495 |
| 4月15日(日) | 92 |
| 合計 | 642 |

その他の活動

- 日本医療情報学会秋季連合大会2006
- RSNA2006(Meeting)⇒JIRA会報に報告掲載
- IHE-Jとの連携：ワークショップの実施に常に参画
- 広報活動
主として厚生労働省、経済産業省の関連部局と
- 「画像診断機器関連産業2007」作成編集作業に参画
システム部会の担当テーマが中心となった。

国際モダンホスピタルショー2007

- 会場： 東京ビッグサイト[国際展示場] 西3・4ホール
- 会期： 2007. 7.11(水)-7.13(金)
- 企画展示:「画像・情報ネットワークによる医療支援」
講演とマルチベンダデモ(XDS)実施
- JAHISブースにてIHE-J活動紹介
 - IHE-J紹介パネル展示
 - ビデオのエンドレス放映(2007年版DVDをJAHIS活動紹介と交互に)
 - 紹介資料と2007年版DVD配布



第26回医療情報学連合大会2006

- 2006.11.1(水)-3(金) 札幌コンベンションセンター
- IHE-J 세미나・マルチベンダデモを実施
- デモは基本2シナリオ採用
- 「産学官共同企画2006」に参画
 - ① IHE-Jのデモ
 - ② MEDIS「電子診療情報提供システム」のデモー経済産業省
 - ③ 「SS-MIX」のデモー厚生労働省

IHEワークショップ in ○○ 1/2

- IHE-J渉外委員会の活動をサポート
- 第1回 2004.9.12(日) in 高知
- 第2回 2005.1.22(土) in 大阪
- 第3回 2005.2.26(土) in 札幌
- 第4回 2005.5.14(土) in 金沢
- 第5回 2005.9.3(土) in 名古屋
- 第6回 2006.1.28(土) in 小倉
- 第7回 2006.5.13(土) in 仙台

IHEワークショップ in ○○ 2/2

- 第8回 2006.8.5(土) in 東京
- 第9回 2007.2.10(土) in 京都
- 第10回 2007.5.12(土) in 高松
- 第11回 2007.8.11(土) in 大津
- 第12回 2007.11.10(土) in 広島
- 第13回 2008.1.26(土) in 新潟
- 第14回 2008.5.?(土) in 山形?



IHE-Jプロジェクト <http://www.jira-net.or.jp/ihe-j/> 2003年7月

IHEの理念と活動

—標準的電子カルテ実現の一翼を担って—

IHE-Jの展示デモをご覧になられたでしょうか。その中で皆様はいろいろな感想をお持ちになったことと思います。IHEについて興味を持たれた方も多くいらしたことでしょう。一方で、「これは自分の病院で使えそうだな」と感じられた方もいらしたことでしょう。

これからIHEをシステム化の選択肢の1つとしてお考えの医療関係者の方々や、IHE-Jへの参加をお考えのベンダの方々に、少しでも理念(考え方)をご理解いただけたら幸いです。以下にその一端を紹介するしだいです。

1. IHEの理念

・標準化により医療生産性を向上

IHEの目的、すなわちその存在意義は何でしょうか。その使命は、「標準化により医療生産性を向上させること」にあります。投入される限られた資源を有効に生かして、目指すレベルの医療を実現することにあります。

・IT化実現手段の共有

IHEは、「医療機関」と「ベンダ」が利用者であり、双方がIT化についての考え方、実現手段を共有することが重要であると考えます。

IHEの目指す標準化の目的はシステムの画一化とは異なります。そこで定める標準は病院が目指すIT化のベースラインに相当し、その範囲内の相互接続性は確保されます。ベースラインを崩さなければ、製品のカスタマイズを要求することも医療機関の自由です。

・国際的活動

IHEは米国で始まった国際的な活動です。各国固有の事情を尊重しながら、世界中で活用できる標準を目指し、活動範囲を拡大しています。

2. IHE誕生の背景と発展

・規格からガイドラインへ (DICOM, HL7などの標準規格適用の限界を踏まえて)

標準規格をマルチベンダシステム実装において効率的に利用するために

すなわち適用シナリオを明確にし、規格の中のどの部分を

インをつくるのが最短の道であると

イドラインを作り、その評価結果によ

要です。そのためには、多くの医療機関

第8回 IHE ワークショップ in 東京

IHE-J 渉外委員会

共催：第8回医用画像認知研究会

第8回遠隔画像診断部会

第6回画像診断報告書研究会

第30回 JPACS 医用画像電子化研究会

会 期：2006年8月5日(土) 午後1時～午後5時

場 所：慶應義塾大学医学部 東校舎講堂

(地図：<http://www.med.keio.ac.jp/access.html>)

〒160-8582 新宿区信濃町35

資料代：3,000円 (IHEのDVDを含む)、「IHE入門」を購入の場合は1,000円割引

(敬称略)

13:00-13:10 開会の挨拶

IHE-J委員長 石垣武男

13:10-14:10 「IHE入門」

司会 埼玉医大総合医療センター 松田恵雄

1. IHEの普及活動と世界動向(15分)

埼玉医科大学 塚本信宏

2. IHEの利用方法(初級編)(15分)

豊橋病院 原瀬正敏

3. 放射線領域で使うIHE統合プロフィール(30分)

放射線医学総合研究所 安藤裕

14:10-15:40 「IHE概要」

司会 豊橋病院 原瀬正敏

1. 米国版 Handbookによる解説(30分)

藤田保健衛生大 江本豊

2. IHE概要 What's new in IHE-J(30分)

京都医療技術短大 細羽実

3. プロフィールを要求仕様書に利用する勘所(30分)

岡崎市民病院 奥田保男

15:40-16:00 休憩

16:00-17:40 「サクセスストーリー」と「行政からのIHE-Jへの期待」

司会 IHE-J渉外委員山本裕長・青野一太

1. サクセスストーリー

(1) 埼玉医大での導入事例(20分)

埼玉医大 松田恵雄

(2) 放射線医学総合研究所での導入事例(20分)

放射線医学総合研究所 向井まさみ

2. 行政からのIHE-Jへの期待

(1) 厚生労働省の立場から 厚生労働省 医政局情報開発振興課 中安一幸(予定)

(2) 経済産業省の立場から 商務情報政策局 医療福祉機器産業室 堀越裕太郎(予定)

17:40-17:45 「開会の挨拶」

IHE-J渉外委員長 安藤裕

(いずれも仮題、予定演者)

<今後の開催予定>

第9回 IHE ワークショップ in 京都

官庁などへの原稿・講演依頼とそのまとめ



「画像診断機器関連産業2007」^{1/2}

- JIRA広報委員会が担当
 - JIRA会報No.177に委員長記事あり
- システム部会の担当テーマが中心となった
 - 2006年の関係団体図が好評で他部会へも展開へ
- 「画像診断機器関連産業2008」・・・継続発刊決定
 - システム部会の取り扱いをどうするか

2007年度事業計画

- システム部会の広報活動としてホームページ運用担当
- JRCのCyberRad委員会に対して：
 学術展示としてのCyberRadのあり方について議論、提案を行う。
- 展示/カンファレンス支援：
 JRC、モダンホスピタルショー、医療情報連合大会など
- IHE-Jとの連携： ワークショップの実施にも継続的参画
- 「画像診断機器関連産業2008」作成に中核的参画
- その他

